

「ホテルや旅館など観光のための宿泊施設は価値が下がってしまう」。

8日の衆院国土交通委員会  
会で日本維新の会の西岡新氏（比例四国）が、耐震改修による観光面での負の影響を指摘した。

西岡氏は改正耐震改修促進法に関連し、松山市内の宿泊施設が実施した耐震診断・改修の例を紹介。新たに設けた筋交いにより松山城の眺めが悪くなったり、部屋が狭くなったりなどのマイナス

を挙げた。また、費用は約3億円に上り、工事期間中は代替施設も確保しなければならなかったと

して、国や地方公共団体の補助制度充実の必要性

永田町  
えひめ

を強調した。

ホテルや旅館に観光的魅力が求められるといっても、それは宿泊客の安全が確保されてこそ。太田昭宏国土交通相は「耐

## 耐震改修 観光に負の側面

震改修で価値が上がるのは間違いない」とした上で「予算など大変なことがあると理解している。硬直的な対応にならないよう配慮したい」と受け取った。

耐震診断・改修が必要な施設はまだまだ多いとみられる。質問後、西岡氏は「情報が限られる地方に、国は工法を紹介するなどの支援が必要だ」と注文した。

（松本尚也）

平成26年4月9日（水）

愛媛新聞掲載